

福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス事業
第1期 レジデンス・アーティストが制作開始！！

令和5年度の福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス事業がついにスタートしました。

第1期（7月～9月）はArtist Cafe Fukuoka を拠点に国内外から3組（4名）のアーティストが市民との共同制作やワークショップを行い、9月に滞在成果の発表を行います。特に、チェ&シャインは、地域の方々や学生たちとともに、レース編みによる大型作品を共同で制作します。

チェ&シャインをはじめとするアーティストの滞在期間中はいつでも取材可能ですので、この福岡で新しいアートが生まれる瞬間や、そこに込められたアーティストたちの思い、ワークショップ参加者たちの熱意などを、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。（事前にご連絡いただければ、取材日を調整いたします。）

【 アーティストのご紹介 】
■ジン・チェ&トーマス・シャイン

7月18日～9月18日 滞在制作
 2003年に設立されたアーティストユニット。アムステルダム在住。立体作品を屋内外に設置することで、公共空間への詩的な介入を試みている。



過去に行われた地域での共同制作の様子



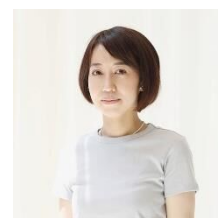
川の上に展示されたレース編みの立体作品(オランダ)

■清水美帆(しみず・みほ)

7月10日～9月27日 滞在制作
 1976年生まれ、東京在住。福岡では九州の伝統的な凧文化をリサーチし、人々との出会いやストーリーを反映した作品を創作します。


■山本聖子(やまもと・せいこ)

7月4日～9月27日 滞在制作
 1981年生まれ、福岡市在住。明治以降の産業近代化についてリサーチし、鉄と映像の立体作品として発表します。


【お問い合わせ】

福岡アジア美術館 学芸課 交流・教育係 中尾、五十嵐

電話：092-263-1103 ファックス：092-263-1105

Eメール：tomo@faam.ajibi.jp

制作サポーター募集

アーティストと一緒に 作品づくりをしてみませんか!

オランダ在住のアーティスト、ジン・チェ&トマス・シャインが福岡に2カ月間滞在し、大型の立体作品を制作します。期間中ならいつでも、どなたでも参加可能です。ぜひスタジオに来てみてください。初心者も大歓迎、アーティストが丁寧に教えます。



期間 7月27日(木) ▶ 9月3日(日) ※毎週木~日
 11:00 - / 13:00 - / 15:00 - (各90分のワークショップを開催予定)

場所 Artist Cafe Fukuoka (福岡市中央区城内2-5)
 (アーティスト・カフェ・フクオカ/旧舞鶴中)

内容

- ・白いひもをかぎ針で編んで、立体のオブジェのパーツを作ります
- ・ひとつのパーツの大きさは70×70cm程度
- ・作った作品は、Artist Cafe Fukuokaに展示されます
 (9/16^⑤から1カ月間程度)



ジン・チェ &
トマス・シャイン

滞在期間：7/18 - 9/18

2003年、チェ+シャイン・アーキテツを設立。アムステルダム在住。光を巧みに用いた作品や人型の送電線など、これまで大型のパブリックアートを数多く手掛けてきたアーティストユニット。近年ではレース編みされた立体作品を屋外や川の上に設置し、公共空間へ詩的な介入を試みている。

ご協力いただける方は、まずは美術館にメール等でご連絡ください

問い合わせ先：福岡アジア美術館 学芸課 交流・教育係

TEL : 092-263-1103 / FAX : 092-263-1105 / E-MAIL : contact@faam.ajibi.jp

展示作品「Power of One (明鏡止水)」について

大型のインスタレーションをArtist Cafe Fukuoka(旧舞鶴中学校)の体育館内に共同制作します。展示期間は、9月16日(土)から1カ月程度を予定。

